

- 今後の野菜対策の基本方向と検討課題 -

野菜安定供給対策研究会の中間的整理のポイント

平成11年9月

野菜対策をめぐる情勢の変化

健康・安全志向の高まりと加工・業務用需要の高まり
生産の主産地化と中小規模産地の生産縮小の動き
流通の広域化の進展と輸入野菜の増加
今年の野菜価格高騰は、異常な気象災害が野菜産地を襲ったことが基本的な要因。しかし、高齢化、担い手の減少など産地の脆弱化懸念や堅調な加工・業務用需要の動向も高騰に係わっていた。一方、消費者の賢い購買行動や販売方法の変更などの新しい動き。
今後、これら供給面、需要面の問題が気象災害時等の需給、価格の変動へ与える影響を見極める必要。

今後の野菜対策の基本的考え方

基本理念

消費者、実需者が求める多様なニーズへの対応を伴った合理的な価格での安定供給

特に留意すべき視点

健康で安全な食生活の維持・増進の観点からの野菜の積極的な評価
・位置づけと消費改善

生産者や産地の活力を生かした国内生産体制の抜本的強化

市場による価格形成を踏まえた生産者、流通関係者、消費者の主体的な活動の推進

生産から流通、消費に至る一貫した取組みの推進

・今後の野菜対策の基本方向と検討課題

1．野菜の積極的な評価を踏まえた情報提供等食生活・消費者対策の推進

健全な食生活の推進と消費改善に資する野菜の消費拡大

- ・「食生活指針」における野菜の適切な評価・位置づけ
- ・野菜の栄養、機能等に関するわかり易い知識・情報の普及啓発
- ・食教育の推進、学校教育との連携による消費拡大

消費者のニーズに応えたきめの細かな情報提供対応と適切な生産出荷・消費等の促進

- ・原産地表示制度、有機野菜等の検査認証制度の普及・定着
- ・国内外の生育情報、需給・価格情報等の収集・提供

2．産地の課題・特徴に応じた新たな野菜供給システムの構築

大規模産地における高効率で無駄のない生産・流通体系への変革

相当規模の産地における機械化一貫体系の定着、基幹施設の組織的、総合的運用等による高効率で無駄のない生産・流通体系への変革

生産縮小が続く中小規模産地における多様な取組みによる野菜生産の振興

中小規模産地等における高付加価値生産の確立、生産者と需要者の連携の強化等による多様なニーズに対応したこだわり野菜、地場野菜の生産拡大と供給の安定化

関係者が一体となった物流の効率化、低コスト化の推進

- ・関係者の協力による規格の簡素化の積極的な推進
- ・産地から消費地まで一貫した物流効率化のための機械化一貫体系、通いコンテナ、バラ流通等の普及の一体的な取組みの推進
- ・外見より実質を重視した販売・消費等に向けた産地・流通関係者等による情報・意見交換等の促進

新技術等の開発・普及、環境衛生問題への対応

- ・全自動収穫機、園芸施設の標準仕様の作成
- ・先端技術の活用と公的研究機関、民間企業等の連携強化による新技術等の開発・普及
- ・野菜生産における自然循環機能の維持増進、環境に配慮した安定的な野菜生産の推進

食品産業と農業の連携強化を通じた国産野菜の加工・業務用等需要への対応

- ・国産野菜の特徴、利点を生かした加工業務用等需要への対応
- ・連携を推進するための情報提供、契約取引の普及啓発、新技術・新商品の開発と加工・流通・販売施設の整備等の総合的推進

3．生産出荷安定対策、需給調整対策、追加的供給対策による総合的な価格高騰時対策の推進

価格高騰時対策に資する生産出荷安定対策と需給調整対策の推進

- ・価格高騰を生じやすい端境期等も含めた主要産地間の安定的なリリース出荷の確保と中小規模産地との連携・補完
- ・計画的な生産出荷等を行う需給調整対策の推進

価格高騰時における情報提供等を通じた関係者の主体的な取組みの支援

- ・価格高騰時における関係者等からの情報収集も含めた国内外の作柄、需給・価格情報の収集・提供の充実等
- ・価格高騰時の価格が安定している野菜への食材変更等を含めた情報提供の充実や外食産業等によるメニュー変更の促進、関係者の情報交換の場の設定等

キャベツの契約生産等追加的供給対策の効果的な実施

- ・契約キャベツ等について、時期別も含めた契約数量、野菜の種類、契約産地の配置、契約産地の生産意欲との関係等そのあり方
- ・緊急輸入について、輸入による追加的供給が必要な場合に実施するなどの事前の情報収集と効果的な実施
- ・予備苗について、災害時の余裕苗の状況把握と産地間の苗の融通促進
- ・たまねぎ等の買入れ保管について、不測の事態等に限定した事業実施

4．野菜指定産地等における生産・出荷の安定化に向けた支援の強化

生産、流通、消費の変化に対応した指定消費地域や、種類と出荷時期ごとに規定している指定野菜の見直し

生産出荷近代化計画についての計画の定期的な見直しと生産の近代化に係る施策のあり方

大規模な野菜作の農業生産法人等と生産出荷安定対策等との関係

需給調整の事業の費用負担の生産者間の公平性を確保する観点からの同事業と関連づけた価格補てん事業の実施方策

特定野菜の価格低落時対策の効果を高めるための改善方策

5 . 生産者主体の計画生産・出荷の取組みの促進等による需給・価格の安定化の推進

生産出荷団体が主体となった生産出荷計画の策定等による計画的な作付・生産・出荷の推進方策

市場隔離等を行う需給調整の事業の対象野菜等の見直しと事業実施時の効率的、適切な供給制限手法のあり方

価格補てん対策と関連づけた市場隔離等を行う需給調整の事業の資金造成方法等

・今後の検討の進め方

野菜の生産、流通、消費に携わる者は、広範、多岐にわたり、かつ、考え方等も多様であることから、野菜対策の見直しは、これらの関係者との十分な調整が必要。

本報告書は、野菜対策の基本方向と検討課題を一定の整理したものであり、今後は、特に検討課題に掲げる事項を中心に、関係者との意見交換等を通じて、制度面、運用面も含めて具体的な内容を詰めることが必要。

野菜安定供給対策研究会の構成及び検討経過

研究会の構成（ は座長、五十音順）

委 員	伊東 正	千葉大学副学長
	大木 美智子	消費科学連合会会長
	梶井 功	東京農工大学学長
	後藤 晃	一橋大学教授
	須田 洵	日本中央競馬会常務理事
	萩尾 みどり	女優
	兵藤 宗郎	（社）日本施設園芸協会会長
	藤島 廣二	東京農業大学教授
専門委員	山谷えり子	（株）サンケイリビング新聞社編集長
	泉 未紀夫	築地東京青果物商業協同組合理事長
	岩村 好伸	全国農業協同組合連合会園芸販売部長
	大澤 誠司	（有）大安社長
	河合 信彦	愛知県経済連園芸部長（11.4.1～）
	牧 茂夫	同営農事業本部長（～11.3.31）
	川口 勤	東京青果（株）取締役
	川城 英夫	千葉県専門技術員（野菜担当）
	小林 由高	諸川青果（株）社長
	高柳 功	（有）おかげさま農場代表
	館本 勲武	東京デリカフーズ（株）社長
	野田 幸男	（株）丸越社長
	羽山 修	（株）西友フーズ商品部青果部長
平吹 信司	（株）すかいらーく仕入開発担当部長	

検討経過

第1回（1月28日）	野菜をめぐる現状、昨年実施した高騰時対策の状況について
第2回（2月16日）	価格高騰時における効果的・機動的な方策について
第3回（3月17日）	安定供給を図るための生産対策の在り方について
第4回（4月23日）	中間的な検討項目の整理、野菜の栄養・規格について
第5回（5月14日）	価格低落時対策等について
第6回（5月26日）	野菜の生産・流通・消費の現状と課題について （主に消費・流通の視点から）
第7回（6月24日）	野菜の生産・流通・消費の現状と課題について （主に生産の視点から）
第8回（7月9日）	今後の野菜対策についての基本的考え方について （フリートーキング）
第9回（8月11日）	今後の野菜対策の基本的方向と検討課題（中間的整理）について